



# 開田小学校だより

令和8年5月1日（金） 文責：水野 真二郎



## 伝統の馬耕

地域の多くの方々のお力添えをいただき、今年度も田んぼの活動を行います。4月30日は、木曽馬の若菜ちゃん(16歳)と一緒に、伝統の馬耕を5年生が体験しました。

5年生は、まずは自分の力で田んぼを耕してみました。開田応援団の皆様には、鍬の使い方を教えていただきながら、田の4分の1ほどを人力で耕しました。

次は、いよいよ若菜ちゃんとの馬耕体験です。見学に来たこども園の園児たちやデイサービスの利用者の皆様、他の学年の子からの声援を受けて、何度も何度も往復をしました。犁（すき）を支える子どもたちは、最初はふらふらとしている様子でしたが、あっという間にコツをつかみ、後半はまっすぐキレイに土がめくれ上がり安定していました。

最後に、若菜ちゃんに代わって子どもたちと担任で犁を引っ張ってみました。浅く耕す場合は軽い力で耕せましたが、少し深く耕そうとすると全身で踏ん張る必要がありました。

体験を終えた子どもたちは、取材に対して「自分でやる時は力が必要だったけど、若菜ちゃんとやると力がいらなかった。」「おいしいお米を作っていきたい。」と語っていました。



## 4月28日(火) 参観日

1年生



国語「ひらがな」の学習で、この日は『り』を学びました。『り』で始まる言葉を出した後、お手本と同じになるように、丁寧に書きました。鉛筆の持ち方や姿勢に気をつけて、ゆっくりと書きました。

2年生



「ふきのとう」(くどうなおこ作)の登場人物になりきった音読をお家の方々に披露しました。その後、ビデオで自分たちの音読を自分たちで見返しました。自分の音読のよさを友達から伝えられると、とても照れていました。

3・4年生



国語の複式授業でどちらの学年も、辞書を用いた活動を行いました。授業の後半のクイズづくりや調べる場面では、保護者の皆様も一緒になって取り組みました。これからも様々な機会を利用しながら、子どもたちの言葉をゆたかにしていきます。

5・6年生



前半は普段の算数の様子を見ていただきました。後半は、大人でもすぐに答えが出ない難しい問題に挑戦しました。あちらこちらでお互いに情報交換しながら取り組みました。参観している保護者も熱が入り、保護者同士でも相談しながら頭をひねっていました。

## 『今年度の学校運営』

今年も開田小学校は、めざす子どもの姿を『ふるさと開田を愛し、志をもって未来を切り拓いていく子ども』と決め、『自律；自分で考え、自分で決めて、自分から行動する』『共生；自分も相手も大切にし、話し合っ分り合う』『ふるさと；ふるさとで思い切り遊んで、ワクワク・ドキドキする』を合言葉に、学校教育活動に取り組んでいきます。

「開田科や複式指導など開田小独自の教育で確かな学力を身につける」「周りの人(友・教師・地域)の多様な考えに耳を傾け、最適解を求めめる中で、自分で考え・自分で決めて・主体的に行動できる」力をつけていってほしいと願い、以下の5つの活動に力を入れていきます。

①『**複式指導**』を主体的な学習態度を育成する場ととらえ、子どもが自分から学ぶ力をつけます。

②『**開田科**』では、主体的に行動する力と、友と協働しよりよく課題を解決する力を育てます。『**みちくさの時間**』も同様です。好きなこと・知りたいこと・やりたいことを自己決定し実行していく時間にします。5月14日からスタートします。(1年生は、夏日課のはじまる6月からスタートします)『みちくさの時間』『夏日課 月・火・金曜日の1・2年生の見守り』と一緒にやっていただける方がいらっしゃいましたら、学校までご連絡ください。

③『**パワーアップタイム**』では、自分も相手も大切にできるコミュニケーション力を育てます。

④『**なかよし班プロジェクト**』は、今年はじめの取り組みですので、少し説明をします。PTAもそうですが、児童会も児童数減少のため、委員会が2委員会となりました。これまで職員の対話の中で、「決められた当番活動を行う委員会ではなく、プロジェクト型の委員会にしているかどうか」という意見があがりました。人数が少なく6年生全員が何かしらの役員を務めなくてはならない状況の中、今までの6年生をお手本にできる従来の児童会のままだいのか、新しい企画を考え実行していく児童会がいいのか、どちらが子どもたちのためになるのか悩みました。そこで今年は、これまで大切にしている異年齢縦割り班で「なかよし班プロジェクト」に取り組み、その経験を生かして、子どもたちが運営しやすくやりがいのある児童会の形を模索していこうと考えました。そこで、今年の児童会スローガン『**たのしいなかよし みなやさしい**』学校になるための、子ども発(発想)・なかよし班発(発想)で、何をやってもいいプロジェクトを実施していきます。自分の、自分たちのアイデアが実現する楽しさを味わい、「まずはやってみよう」といった行動力を育てます。

⑤『**中学校区同学年交流・合同学習**』では、昨年度同様に多様な他者との出会いを大切にします。

ほかにも『**自律を育む家庭学習**』『**夏休みの自由研修**』に今年も取り組みます。保護者の皆様のご協力をお願いします。

もう一点、昨年度赴任してきた職員から「あいさつ」「返事」が返ってこない。「返事の声が小さいことで無視されたと取られてしまいトラブルになることがある」という声が出されました。そこで、この1学期に力を入れていこうということで、始業式に『**あいさつ**』の話をしました。キーワードは㊦㊧㊨㊩です。㊦「あかるく」「あいてに聞こえる声で」㊧「のつでも・どこでも・だれとでも」㊨「自分からまきに」㊩「〇づけて、習慣にする」このようなあいさつに取り組んでいきます。家庭や地域でも大切にいただけると、ありがたいです。

**保護者の皆様・地域の皆様のお力をお借りし、子どもたちが自己を発揮しながら、自分のよさをさらに伸ばして成長できるように、職員一同取り組んでいきます。**

**今年度もご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。**